

2023 - 24 Governor's Monthly Letter

2024.5
Vol.11

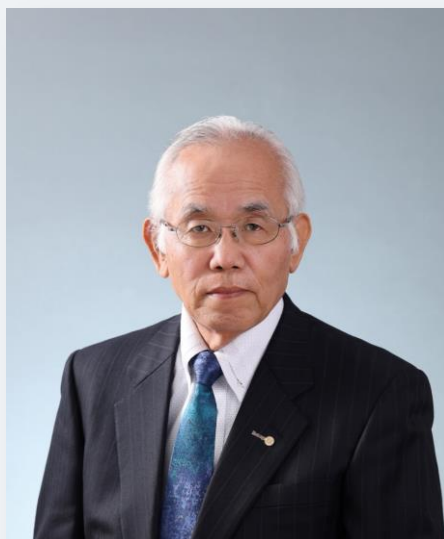
CONTENTS

- | | | | |
|---|------------------|----|-----------------------|
| 2 | ガバナーメッセージ | 12 | IM開催報告 |
| 3 | 能登半島地震災害への支援について | 14 | ロータリー財団グローバル補助金奨学生報告 |
| 4 | 2024-25年度 PETS報告 | 15 | 行事予定(5月・6月) |
| 5 | 委員会報告 | 16 | 会員数報告 |
| 9 | クラブ周年記念式典の報告 | 17 | R財団・米山記念奨学会寄付者/会員異動一覧 |



国際ロータリー第2610地区 2023-24年度 ガバナー

原 勉 (白山RC)



4月18日・19日と東京JPタワーホールにてクラブ活性化セミナーが開催されました。

その中で、令和6年能登半島地震の震災支援に対しお礼を述べさせていただき、現状報告をいたしました。会場では同期のガバナーといろいろと話をさせていただきました

やはり大きな揺れなのでほかの地区でも被害が出たように聞きました。しかし、2610地区の被害があまりにも大きく、自分たちの地区はさておいて能登の支援をしようと、温かいお言葉を多くのガバナーからいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、関西方面のガバナーより支援物資の用意があります、また、福祉車両寄贈の準備をしていますとの申し出。また愛知エリアのガバナーからは5月11日、12日と2日間にかけて能登半島地震の支援募金活動を行う予定をしておりますとのこと（こちらは当日私も参加を予定しています）。さらに数人のガバナーの方は、支援金を届けましたが、引き続き募金活動を行っているので後日送金致します、と。東京での2日間、実に多くの方々からいろいろとお見舞い・励ましのお言葉をいただき、ロータリアンの強い、そして厚い絆を感じました。

4月10日現在のご支援いただきました支援金

・国内ロータリークラブ	246,499,512円
・国外ロータリークラブ他	39,121,429円
・第2610地区ロータリークラブ	21,052,171円
・その他	100,000円
・合計	306,773,112円

このように、多額の支援金、そして沢山の支援物資をいただき、沢山のボランティアの方々に助けていただきました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

また、同時に4月3日の台湾第3490地区の震災、4月17日には愛媛県・高知県の方でも地震が発生しています。こうした地区に関しましても、沢山の支援金をいただいております。対策委員会といたしましても、それぞれの友好クラブを通じ対応策を考え、早急に対応したいと思っております。

穴水ロータリークラブ訪問



日 時 令和6年4月12日（金）12時30分点鐘

場 所 のとふれあい文化センター

参加者 八塚パストガバナー、舞谷ガバナー補佐、宮本地区幹事、穴水RC会員

東四柳会長挨拶

3月下旬に久しぶりに全員が揃い、今後の活動について話し合った結果、4月から月2回の例会を開くこととなり、今日が再開後の第1回目の例会になります。17年前の地震より思いのほか大打撃を受け、3か月経った今でも倒壊した建物は撤去されず、一向に復旧が進まず今回はだいふ様子がちがうなあと不安な気持ちになっています。被災直後は気が立っておりましたが、その後寒い日が続き疲れも出て体が動きづらかったのですが、ここに来て漸く暖かくなり春の季節がやってきて体が動きやすくなり、復興に向けて頑張らなければとの思いが強くなりました。

5月に30周年記念式典の準備を進めて来ましたが、4,000年に1回の未曾有の体験であり、私たち会員もまた周囲の人たちも被災しているこんな中で、お祝い事をするのはもう少し落ち着いてからの思いから、暫く延期をさせて頂きたく思います。

私達会員の一人一人が、それぞれの分野で頑張っていくことが、ひいては地域の復旧・復興に繋がると思っています。お互い気持ちをしっかり持って1つ1つ活動を進めていきましょう。

本日は誠にありがとうございました。

宮本地区幹事挨拶

被災されて大変な時期に訪問させていただきましたことに、まずもって感謝申し上げます。石川富山で被災された14クラブの皆様に寄り添って、地区として何ができるか、を考えながら進めていきたいと考えています。

また、4月3日に発生した台湾花蓮県の大地震については、人はいつ何時どんな災害に遭うかわかりません。今度の能登地震で多額の支援金をいただいている以上、今度はお返しをする番ということで今支援を進めています。

私たちの年度も残り少なくなり、新年度へのPETSや地区研修・協議会が行われる中、微力ではありますが、今何ができるかをテーマとして、ともに取り組んでいきたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。

この後、米山奨学生の受入への感謝状の贈呈が行われ、若干の意見交換の後、閉会しました。

PETS I 開催のご報告



令和6年3月17日(日)午前10時より、富山県黒部市宇奈月町にある、黒部市芸術創造センターセレネにおきまして、国際ロータリー第2610地区2024-25年度のための会長エレクトセミナーPETS Iを開催させて頂きました。元日に発災した能登半島地震の影響により、開催自体が不透明であった中ではありますが、当日は110名を超えるご登録を頂き、石川県からも大変多くのご登録を頂きましたことに心から感謝申し上げますと共に、ロータリアンとしての崇高な精神を感じさせて頂きました。

今回のPETSは例年とは違い、ロータリー章典に則り、少なくとも1日半の開催が必要であることから、1泊2日での集中開催などを模索したところではありますが、対象者の意識高揚や横の繋がりなどを考慮し「PETS I」として対象全メンバーにご参集いただき、「PETS II」としてグループ内でご参集いただく方法を取らせて頂いての開催とさせて頂きました。また、2024-25年度は、ラーニング方式による運営を推進することから、ご参加いただきました皆様に、少しでもラーニング方式が浸透するよう会の企画をさせて頂きました。更には、「能登半島地震災害支援チャリティーコンサート」と銘打って、PETS I開催後、同会場において、ヴァイオリニスト栗津惇氏、ピアニスト森亮平氏、チェリスト細井唯氏をお迎えし、名実共に「本物の音楽」を皆様にご堪能頂くと共に、一般公開もさせて頂き、ロータリー活動の一端を一般の方に周知する機会を設けさせて頂きました。なお、チケット収入60万円につきましては、全て義援金として石川県(30万円)・富山県(30万円)を通じて被災地にお送りさせて頂きました。更にはコンサートの際にご寄附頂きましたご芳志及び懇親会にてお寄せいただきました善意8万2千5百円につきましては、地区の災害対策特別口座に繰り入れさせて頂きました。

結びに、今回のPETS Iを通して、各クラブがより社会に貢献する事業を行い、そのことによってクラブが活性化し、魅力が高まり会員も増え、またサステナブルに社会貢献が展開されるという好循環が生み出されることを期待しますと共に、2610地区すべてのロータリアンが地区活動方針である「ロータリーを高めよう」を実践していただきますことをお願い致しまして、PETS I開催の御礼ご挨拶とさせて頂きます。

ありがとうございました。



インターアクト台湾研修旅行

インターアクト委員長
吉谷 奈艶子 (高岡北RC)

3月22日～26日の4泊5日で、2610地区のインターアクト提携校で募集した21名の学生と、引率の先生2名、地区委員3名の総勢26名で、台湾の研修旅行へ行ってきました。

今回の研修旅行の大きな目的は、台湾の高校生と交流をすることです。このため12月からの4回の事前研修で4つのグループに分かれて、交流会の準備を進めてきました。



1校目は台中市にある私立立人高級中学へ。バスが校舎の前に到着すると、日本の学生の名前が書いてあるウェルカムボードを持って出迎えてくれました。部屋に入ると、セレモニーが始まる前から、学生同士の交流がすぐ始まりました。

台湾の学生から積極的に話しかけられ、最初は受け身のような感じでしたが、笑い声が飛び交う楽しい交流となりました。名残惜しむように別れて次の学校へ。



2校目は雲林県にある揚子高級中学へ。南へ向かい気温もどんどん上がり、到着したときの体感温度が36℃でした。こちらも皆さんから盛大に出迎えていただきました。この辺りはサトウキビが多く収穫されるとのことです。ウェルカムアイス。

タオルでドラゴンを作るワークショップや、現地で古くから伝わる人形劇を見ました。

交流のあとは近くのお店までみんなで歩いて移動し、食事をしながら鍋交流会の再開です。台湾の方たちは皆さんフレンドリーで、学生たちもとても楽しそうでした。私もGoogle翻訳にお世話になりながら、校長先生、現地のロータリアンの方とたくさん会話することができました。

現地の方と会話を交わす交流こそが、価値観を揺るがす経験となり思い出に残るのだと改めて感じました。ただの観光だけでは得られない貴重な体験でした。

インターアクト台湾研修旅行

そしてもう一つの台湾研修。

今回とても大きな出来事がありました。交流会の途中で、学生のひとりが、腹痛がひどく病院へ行ったところ、急性虫垂炎と診断され、急遽台湾で入院・手術を受けました。異国の地で手術をする不安を和らげてくださったのは、台湾の方々です。病院の手配、送迎、お医者様への連絡、通訳、24時間看護の手配など。台湾のロータリアンの方々にスピーディーな対応をしていただきました。親御さんに状況を説明、手術の同意を得て、病院へ到着してから5時間後に手術。幸いにも事態が悪化する前に手術をしていただきました。

一行は26日に予定通り帰国しましたが、退院許可が出るまで私が残留しました。台湾に来てからほとんどが病院のベッドで過ごし、退院した翌日に帰国をするため、台湾の街をほとんど見ていません。「移動中はしっかり台湾見ていこう!」と提案し、バス目線の高さでは発見できなかった、タクシーという目線での台湾の生活感。を探しました。

その時に、学生が言った一言が印象に残っています。「みんなと一緒にいると同じところしか見なかった。一人になることで自分の視点や気持ちに気づくことができた。」と。

異国の地で得た大きな体験が、この先どんな変化を遂げていくのか、楽しみなもうひとつの台湾研修となりました。

最後に、今回の台湾研修旅行にご支援を下さった、原ガバナーはじめ、参加学生のスポンサークラブの皆さまに心から感謝を申し上げます。

また、4月3日に起きた台湾地震で多くの被害が出て、文化薫る街並みの惨状に大変心を痛めております。

台湾のロータリアンの方に温かいお気持ちで迎えていただき、インターアクターたちも沢山のおもてなしをいただきました。

私たちができる恩返しを考えていきたいと思います。台湾への温かいご支援をよろしくお願いいたします。



2024-25年度地区補助金審査会

ロータリー財団委員長
青山 和也 (富山みらいRC)



2024年4月6日（土）、ホテル日航金沢にて第4回ロータリー財団委員会を開催後、2024-25年度の地区補助金の審査会を行いました。原ガバナー、大橋ガバナーエレクト、小山ガバナーノミニ、翠田ガバナーノミニ・デジグネートにもご臨席いただきました。

1月29日（月）から地区補助金申請書の受付を開始し、ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所に申請書が届き次第、委員会内で事前審査をさせていただき、審査会に備えました。事前審査で不備のある場合は、都度、各クラブに連絡をさせていただき修正等を行っていただきました。3月22日（金）までに届いた申請書を4月6日（土）の審査会前日ギリギリまで確認を行い、資料をまとめました。

39クラブから58件もの申請をいただきまして、審査会当日は1件ずつ慎重に審査をさせていただき、再修正が必要な申請書もありましたが、滞りなく終了いたしました。審査中、委員の皆さんからは有意義な意見をたくさんいただきまして、次年度につながる良い審査会になったのではないと思っています。

審査会に向けて、柴田副委員長、村本副委員長、石瀬副委員長はじめ委員の皆さんには年度替わりの大変忙しい中、しっかりと事前審査を行なっていただきました。また、ガバナー・ガバナーエレクト合同事務所の皆さんには地区補助金一覧作成や申請書の取りまとめ、各クラブとの調整等を行なっていただきました。関係各位に改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2023-24年度 第3回財務・監査合同委員会

財務委員会委員長

中村 英一（白山RC）

4月13日（土）、第3回財務・監査合同委員会がホテル金沢で開催されました。

【出席者】

役職	氏名	所属クラブ	役職	氏名	所属クラブ
財務委員長	中村 英一	白山	監査委員長	津田 文雄	七尾
財務委員	大橋 聡司	宇奈月	監査委員	黒川 伸一	富山南
財務委員	町野 美香	宇奈月	監査委員	南 昌樹	富山南

※大橋委員、町野委員はZoomにて参加

【オブザーバー】

役職	氏名	所属クラブ	役職	氏名	所属クラブ
ガバナー ノミニー	小山 英一	小松東	25-26年度 財務委員長	金戸 善之	小松東
25-26年度 地区幹事	潮津 勇	小松東	筆頭副幹事	中村 俊治	白山

冒頭、中村財務委員長、津田監査委員長の挨拶があり、津田委員長からは、1月1日に発生した能登半島地震について、被害の大きかったところは1月1日のまま、建物の解体も一向に進まないといったお話がありました。また、鵬学園への支援について質問されましたので、鵬学園には1千万円、珠洲飯田高校には5百万円の支援をすることが決まっていることをお伝えしました。

その後、議事に入り、まず、2023年7月から24年3月までのロータリー財団会計を除く地区会計の概要及び決算収支見込について、中村財務委員長から説明がありました。

収入については、会員数が予算より少ないことと下期は被災クラブから徴収しなくなったことにより、人頭賦課金等が予算に足りないこと、支出については、ガバナー～ガバナーノミニーの全国会議出席に係る経費計上をガバナー事務所会計から一般会計に替えたことなどが説明されました。

また、能登半島地震支援金の管理口座を「地区特別基金特別会計」とし、それ以外の資金を管理するために「災害等対策積立基金特別会計」の口座を新設したとの報告がありました。

最後に、今後のスケジュールについて協議した結果、当初予定していた第4回の委員会は行わず、8月に会計監査と決算委員会を同日に行うこととなりました。



金沢南ロータリークラブ 創立55周年記念式典報告

会長 祖泉 信宏



2024年3月5日ホテル日航金沢にて開催した、クラブ創立55周年記念式典には、国際ロータリー第2610地区からガバナー及び地区幹事、姉妹クラブの京都東山ロータリークラブ、そして県内から多くのロータリアンの皆様にご参加いただき、改めて深く感謝申し上げます。

金沢南ロータリークラブは1969年3月6日に金沢東ロータリークラブをスポンサークラブとして設立されました。クラブ創立55周年を迎えられるのは、RI、2610地区、姉妹クラブの皆様方のご指導ご鞭撻やご厚情、これまで永きにわたり当クラブの活動を支えてくださった先輩ロータリアンの皆様の歴史があってであることは、当クラブ会員の共通の思いです。

2018-19年度に迎えた当クラブ創立50周年の大きな節目から5年の歳月が過ぎ、その間、2020年春からの3年間にわたってのいわゆるコロナ禍は、「集って活動すること」を基本とするロータリークラブのあり方を根幹から揺るがすこととなり、クラブの活動は多くの影響を受けざるをえませんでした。ようやくロータリークラブらしさのある活動を再開できはじめたと思っていた今年度、1月1日に発生した能登半島地震、その爪痕は未だ癒えてはいません。

しかし、今年度のクラブ目標を「やさしいロータリー」とさせていただき、親切にふるまい・友愛をもって・穏やかな心で・簡単に解り易い、ロータリークラブ・ロータリアンとなり行動することを目標とし、55周年記念事業として多くのクラブメンバーと行うこともできました。一つ一つはこれまでの我々のクラブの活動、連携した多団体の活動を手本として行ったものですが、これらの事業がこれからの我々のクラブの奉仕活動に繋がっていくものになればとの思いがありました。

金沢南ロータリークラブ 創立55周年記念式典報告

会長 祖泉 信宏

記念例会では、記念事業として行った以下の5大奉仕記念事業を担当した5人の委員長さんたちに、パワーポイントを使って紹介していただきました。

青少年奉仕事業：「プロの選手とともに学ぶ少年野球教室」
「子ども食堂でのバレンタインスイーツ作り体験」

社会奉仕事業：「米泉小学校への遊学館高校マーチングバンドによる～音楽のお届けもの～」

職業奉仕事業：「金沢中央市場～SDGs取り組みについて学ぶ～」

国際奉仕事業：「カンボジアの子ども達へ～ひらけ未来へ～」

今回の記念式典に長期間にわたる準備・運営をともに行ってくれた当クラブメンバーに対して感謝し、55周年という一つの節目を迎えた今年度の全会員の活動を将来振り返った時に、「今の活動は、あの時（55周年）から始まった」と思ってもらえることがあれば、これに勝る幸せはありません。



小矢部中ロータリークラブ 創立40周年記念式典・祝賀会の報告

創立40周年実行委員会事務局長
山本 裕二 (小矢部中RC)

去る3月10日(日)、我々小矢部中ロータリークラブは「クロスランドおやべ」にて創立40周年記念式典ならびに祝賀会を開催させていただきました。式典には原勉ガバナーをはじめとする特別招待者の皆様、桜井森夫小矢部市長をはじめとするご来賓の皆様、富山第3・第4グループ各ロータリークラブの会長・幹事の皆様、友好クラブの淡路三原ロータリークラブの皆様、スポンサークラブの小矢部ロータリークラブの皆様、そしてメンバーのご夫人方にも出席いただき、総勢約150名での開催となりました。

記念式典では記念事業として、「ロータリー財団・米山奨学会への寄付」をガバナーへ、「小矢部市へ児童図書への寄贈」を小矢部市長へ、それぞれ目録を贈呈しました。また、当クラブではフィリピンのネグロス教育里親運動をきっかけに、現地の子供たちにズックを送る事業を毎年行っていますが、そのズック等を提供していただいている市内の小学校を代表して、校長会会長へ感謝状を贈呈しました。そして、創立メンバー4名を含む20年以上の永年在籍会員表彰を行う等、厳粛な中閉会しました。

記念講演に代わる記念映像では、40年を振り返る話や入会して良かったことなど、メンバー全員の思いや感想をドキュメンタリー風に編集し放映させていただきました。

祝賀会ではご出席の皆様にコサージュを着けていただき、サククス・ピアノ演奏で会場へお迎えするなど、一転して華やかな雰囲気で行われました。アトラクションの「変面ショー」には皆さん驚きと圧巻、当クラブメンバーのバンド演奏とダンスには、笑いを交えながらも皆さん盛り上がり、ラストの「手に手つないで」では、一糸乱れぬ手の振りで感動の閉宴となりました。

今回も奉仕の精神で手作り感満載の40周年となり、ご夫人方にも受付等のお手伝いをしていただくなど、全員でおもてなしをするという気持ちがあふれ出した素晴らしい式典・祝賀会になったと自画自賛しております。

1984年(昭和59年)10月6日に小矢部ロータリークラブをスポンサークラブとして創立以来40年、これからも奉仕の精神で会員心をつにして活動してまいりますので、皆様方にはこれまで以上にご支援、ご協力を頂きますようよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。



富山第4グループ都市連合会 IM開催のご報告

富山第4グループ ガバナー補佐
義浦 実（氷見中央RC）



【原ガバナー挨拶】



【講師の神野正博パストガバナー】



【義浦ガバナー補佐 挨拶】



【氷見救援隊の皆さん】

富山第4グループの都市連合会IMを令和6年3月3日に氷見市の「うみあかり」において開催いたしました。原勉ガバナー、宮本哲一地区幹事にも遠路お運びいただき、基調講演には神野正博パストガバナー・第2地域公共イメージコーディネーターにご登壇いただきました。都市連合会はグループでテーマを決めることのできる学びの場であり、年度当初から「公共イメージ向上」についてロータリークラブとしてどのように取り組むべきか考えておりました。各クラブより普段の活動の中でも一般の方を対象にした事業や他団体との協働の事業を紹介していただき、「公共イメージ向上」につなげるための工夫や注意すべき点をお互いに共有することを目的に「公共イメージ向上」をテーマにしました。

昨年12月中に特別出席者、各クラブへの案内を済ませ、年明けより会場設営やプログラム進行の細部を詰めるプランで準備していましたが、1月1日に発生した能登半島地震により状況は一変しました。能登地域の被災状況も悲惨でありましたが、私共の氷見市でも多くの家屋が倒壊、避難を余儀なくされた方々が苦難を強いられました。

氷見RC、氷見中央RCでは1月例会はすべて取消となりましたが、3月3日の都市連合会の開催について実行委員会を開き、開催場所確保が困難なため中止の判断もありましたが、これからの復興に向けてロータリークラブが率先して行動を起こす気概を示すためにも開催することにいたしました。基調講演をお願いしました神野様には地元の復旧活動のさなか講演のお時間をとっていただきました。講演では今回の震災の対応や今後の復興に向けた都市計画の立案についても触れられ、ロータリアンとしての行動こそが「公共イメージ向上」に繋がるとの貴重なお話をいただきました。

開催当日は100名近くの皆様にご参加いただき、各クラブの熱心な事業の取り組みや公共イメージ、震災についてのご意見もお聞きすることができて、大変有意義な都市連合会となりました。

開催にあたり、原ガバナーはじめ神野基調講演講師、八塚パストガバナー、関係各位にご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

富山第2グループIM報告

富山第2グループ ガバナー補佐
町野 利道 (富山RC)



富山第2グループでは下記の日程で2023 - 24年度のIMを開催致しました。

開催日 2024年3月13日(水)
時間 12時30分から14時まで
開催場所 ホテルグランテラス富山
出席者 260人

開催に先立ち、先の能登半島地震の犠牲者に対し黙禱を捧げました。

開会点鐘、国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱を行い、引き続き、ホストクラブの富山中ロータリークラブ高田千明会長から開会挨拶、ガバナー補佐町野利道より挨拶がありました。

特別参加者のご紹介の後、原ガバナーから能登半島地震に対する各クラブの支援に対してお礼の言葉とともにご挨拶を頂きました。

本日の特別講演として、株式会社小松製作所 特別顧問 野路國夫様より「コマツの経営構造改革とDXへの取り組み」と題してご講演をして頂きました。

ここ数十年の小松製作所のイノベーションをどのようにして達成してきたか、仕事の優先順位としてS, L, Q, D, Cの順番を明確にしていること、そして今後のデジタル革命の方向など、具体的にお話し頂きました。

当日の出席者からは「とても勉強になった」「薫陶を受けた」とたいへん好評でした。

インターシティ・ミーティングIMの目的である「ロータリアンの相互理解と親睦、そして立派なロータリアンを育てること」を少しでも進めることが出来たのではないかと思います。

皆様、こんにちは。ロータリー財団グローバル補助金奨学生の沖野一晃と申します。令和5年の4月からオーストラリアのパースにある、西オーストラリア大学 (The University of Western Australia) の研究機関であるHarry Perkins Institute of Medical Researchで医学研究に従事しています。パースは秋を迎えていますが、今年は暖冬が予想されており、現在でも30度を超える日が続いています。綺麗なビーチで泳ぐ人の姿も多く見かけ、夏が好きな私としては嬉しい限りです。

私の研究についてですが、患者さんから提供して頂く腹膜組織が足りず、研究のペースが少し遅れてしまっています。患者さんからの協力なくして医学研究は成り立たないということを感じています。しかし、現在の期間は、今後忙しくなるための準備期間だと気持ちを切り替え日々過ごすようにしています。

パースの現地校に通う娘たち(7歳と5歳)は1ヶ月半の長い夏休みが終わり、1月31日からそれぞれYear2とPre-Primaryに進学しました。オーストラリアの学校の始まりは日本の4月と異なり1月終わりもしくは2月初めになります。オーストラリアに来て1年が経つと、環境の変化への適応が早く、新しい友達ともすぐに仲良くなり、楽しい日々を過ごしています。また2人の英語の進歩も早く、羨ましい限りです。

Rotary Club of Matilda Bayの方々との交流についてですが、前会長のLarry氏が私達家族のことを大変気にかけて下さり、1ヶ月に1回、コーヒーやランチをしながら近況報告や困ったことがないか聞いて下さいます。また、普段お世話になっているLarry氏ご夫婦とPaul氏ご夫婦を自宅に招待し、日頃の感謝を込めて、手巻き寿司やお好み焼きといった日本料理を振る舞いました。そして4月17日の定例会ではビル・ゲイツ氏が気候変動や環境問題に対して設立したBreakthrough Energyから資金提供を受け、牛のメタン削減技術を開発するRumin8 Pty Ltdの会長であるDr Stewart Washer氏が講演をされました。海藻を食べる牛は成長が早いと同時にメタンの産生が少ないという研究内容は大変興味深かったです。定例会は通常朝7時に開始するのですが、この日は妻と子供も学校に行く前に一緒に参加し、朝食を食べながら講演を聞きました。このように朝早くから皆様との親睦を深め、また子供も受け入れてくれる環境に、オーストラリア、パースの素晴らしさを感じました。Rotary Club of Matilda Bayおよびロータリー2610地区の皆様のおかげで、日本では経験できない貴重な体験をすることができています。大変感謝申し上げます。



【 Floreat Beachにてランチ
左；Larry氏、妻、筆者 】



【 Larry氏・Paul氏夫妻との食事会 】



【 Rotary ClubのMeeting 】

行事予定（5月・6月）

2024年4月末日現在

日時	行事予定		場所	備考
5月 <青少年奉仕月間>				
10日	金	石川第1グループB IM (追加開催)	ホテル日航金沢	14:30~
10~12日	金~日	第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会・山形会議	天童市市民文化会館/天童ホテル	
11日	土	黒部中央RC創立30周年記念事業・記念式典・祝賀会	仁王門集会場・ホテルアクア黒部	15:00~
12日	日	石川第4グループPETS II	ラプロ恋路	13:00~17:00
18日	土	ロータリー・リーダーシップ研究会 (パートII)	ウイング・ウイング高岡	9:30~16:30
24日	金	2024-25年度 地区規則・手続・情報委員会	とやま市民交流館	17:30~
25日	土	第46回ローターアクト年次大会	若鶴大正蔵 (砺波市三郎丸)	13:00~
25~29日	土~水	ロータリー国際大会	シンガポール	
		ロータリー・ウィークエンド (受入・派遣交換留学生) 1泊研修 ⇒今年度は10~12日に天童市で開催される、第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会・山形会議のスピーチコンテスト参加に振り替えて実施します。		
6月 <ロータリー親睦活動月間>				
1日	土	米山奨学生WEB卓話研修会①		
1~4日	土~火	第20回アジア太平洋地域ローターアクト会議 (APRRC)	シンガポール	
2日	日	加賀RC創立50周年 式典及び祝賀会	やましろ温泉 ゆのくに天祥	11:00~
8日	土	第3回次期ガバナー補佐会議	番伊 (七尾市府中町239)	13:30~14:45
		能登半島地震復興支援会議		15:00~16:30
		第46回インターアクト協議会	ウイング・ウイング高岡	9:30~15:00
		米山奨学生WEB卓話研修会②		13:30~15:00
8・9日	土・日	第16回全国RYLA研究会福島会議		13:00~ 翌日 9:00~
		第4回交換留学生オリエンテーション (派遣・受入合同) 1泊研修 (北米帰国準備)	リファール金沢	13:30~ 翌日 11:00まで
11日	火	富山RC創立記念懇親会	富山電気ビルディング	18:00~
15日	土	次期第1回RLI委員会・懇親会	ホテル日航金沢	13:00~16:00
		2024-25年度第1回地区ロータリー会員増強委員会		
		米山奨学生WEB卓話研修会③		
15・16日	土・日	第11回全国インターアクト研究会・神戸会議	神戸駅前研修センター	12:00~ 翌日 12:30~
22日	土	米山奨学生WEB卓話研修会④		13:30~15:00
29日	土	地区国際青少年交換委員会	TOYAMAキラリ	11:00~13:00
		地区国際青少年交換クラブ委員長会議 (派遣・受入について)		13:30~15:30
30日	日	地区ローターアクト第3回会長幹事会議およびエレクト会議	金沢機工株式会社	13:00~
		地区ローターアクト次期指導者研修会		15:15~

会員数報告

国際ロータリー第2610地区会員報告（2024年3月分）

2024年3月末日現在

グループ	クラブ名	会員数			女性会員		
		期初	月末	増減	期初	月末	増減
富山第1グループ	朝日	20	20	0	2	2	0
	黒部	9	9	0	4	4	0
	黒部中央	24	24	0	4	4	0
	入善	4	7	3	0	0	0
	宇奈月	23	26	3	1	2	1
	魚津	20	20	0	1	2	1
	魚津西	22	24	2	4	4	0
	7 R C	122	130	8	16	18	2
富山第2グループ	越中八尾	21	20	-1	1	1	0
	上市	21	20	-1	4	4	0
	立山	13	13	0	1	1	0
	富山	96	105	9	3	4	1
	富山シティ	74	73	-1	0	0	0
	富山南	54	58	4	0	0	0
	富山みらい	74	81	7	11	13	2
	富山中	49	52	3	5	6	1
	富山西	67	63	-4	0	0	0
	富山大手町	46	50	4	5	4	-1
	10 R C	515	535	20	30	33	3
富山第3グループ	射水	33	32	-1	1	1	0
	東となみ	16	17	1	1	1	0
	新湊	40	41	1	2	2	0
	新湊中央	9	9	0	1	1	0
	高岡	76	76	0	2	2	0
	高岡万葉	63	63	0	1	2	1
	砺波	42	44	2	4	3	-1
	7 R C	279	282	3	12	12	0
富山第4グループ	氷見	34	35	1	4	4	0
	氷見中央	14	13	-1	1	1	0
	南砺	41	45	4	2	3	1
	小矢部	38	38	0	4	4	0
	小矢部中	43	42	-1	0	0	0
	高岡北	32	32	0	3	3	0
	高岡西	43	44	1	4	3	-1
7 R C	245	249	4	18	18	0	

RAC名	会員数			女性会員		
	期初	月末	増減	期初	月末	増減
南砺	2	2	0	1	1	0
砺波	2	2	0	0	0	0
金沢東	2	12	10	0	1	1
金沢	8	8	0	2	2	0
小松	1	2	1	0	0	0
金城大学	10	13	3	6	9	3
6 R C	25	39	14	9	13	4

グループ	クラブ名	会員数			女性会員		
		期初	月末	増減	期初	月末	増減
石川第1グループA	河北北	16	16	0	0	0	0
	河北南	29	28	-1	2	1	-1
	金沢	119	127	8	0	2	2
	金沢東	101	100	-1	7	7	0
	金沢香林坊	104	103	-1	0	0	0
	金沢南	48	51	3	3	4	1
	6 R C	417	425	8	12	14	2
石川第1グループB	白山	31	34	3	5	5	0
	白山石川	40	38	-2	5	5	0
	金沢百万石	38	35	-3	14	14	0
	金沢北	40	40	0	4	4	0
	金沢みなと	51	49	-2	8	7	-1
	金沢西	40	44	4	7	7	0
	野々市	41	41	0	6	6	0
7 R C	281	281	0	49	48	-1	
石川第2グループ	加賀	74	75	1	6	6	0
	加賀中央	23	24	1	8	8	0
	加賀白山	24	23	-1	2	1	-1
	小松	49	48	-1	6	5	-1
	小松東	29	33	4	4	4	0
	小松シティ	32	31	-1	4	4	0
	能美	51	51	0	1	1	0
山中	15	16	1	0	0	0	
8 R C	297	301	4	31	29	-2	
石川第3グループ	羽咋	28	24	-4	0	0	0
	中能登まほろば	12	12	0	0	1	1
	中島	8	8	0	0	0	0
	七尾	42	44	2	0	0	0
	七尾みなと	45	45	0	2	2	0
	志賀	21	24	3	2	2	0
	富来	13	13	0	1	1	0
7 R C	169	170	1	5	6	1	
石川第4グループ	穴水	12	14	2	2	2	0
	能都	38	38	0	2	2	0
	珠洲	17	18	1	0	0	0
	内浦	17	18	1	2	3	1
	輪島	29	28	-1	3	2	-1
5 R C	113	116	3	9	9	0	
64 R C 合計		2,438	2,489	51	182	187	5

R財団・米山記念奨学会寄付者／会員異動一覧

R財団 寄付者

使途指定寄付			
クラブ	寄付名称	氏名	日付
白山石川	ポリオプラス	小柳 善裕	3月14日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
クラブ	氏名	日付	回数
宇奈月	大橋 聡司	3月2日	5回
河北南	勝崎 猛	3月24日	4回
	飯田 道昭	1月31日	3回
金沢香林坊	東 直樹	1月25日	1回

ポール・ハリス・フェロー		
クラブ	氏名	日付
河北南	加茂川寛之	1月31日
小松	大畑 清三	3月29日

R米山記念奨学会 寄付者

米山功労者 メジャードナー			
クラブ	氏名	日付	回数
高岡万葉	高嶋 志郎	3月27日	12回
	沖田 浄	3月27日	10回

米山功労者 マルチプル			
クラブ	氏名	日付	回数
高岡万葉	関 聡	3月27日	7回
	谷口 猛	3月27日	6回
	八田 正人	3月27日	4回
	稲谷 嘉則	3月27日	4回
	長田 裕	3月27日	4回
	畠山 清隆	3月27日	2回
	樋口 昌弘	3月27日	2回
	井上 敏夫	3月27日	2回
	栗山 元成	3月27日	2回
	宮下 修	3月27日	2回
	吉野 福恵	3月27日	2回
	金沢南	(元会員) 水野義男	3月15日
野々市	新保 良介	3月5日	2回

米山功労者			
クラブ	氏名	日付	回数
高岡万葉	京田 豊	3月27日	1回
	松村 浩史	3月27日	1回
	奈部 和弘	3月27日	1回
野々市	本村 幸宏	3月19日	1回

入会

クラブ	氏名	日付
富山みらい	沖田 静代	3月19日
富山大手町	浅野 公博	3月4日
砺波	干場 慎矢	3月4日
南砺	鮫島 智爾	3月26日
金沢	大西 隆之	3月27日
	中澤 彰孝	3月27日
	道上 宗雅	3月27日
金沢南	中宮 千里	3月12日
	黒崎 嘉之	3月26日
白山	竹吉 大	3月12日
	古川 善清	3月12日

退会

クラブ	氏名	日付
富山	神崎 直志	3月31日
	高橋 邦明	3月31日
	山村 隆彦	3月31日
	尾崎 浩二	3月31日
富山西	今井 孝之	3月31日
	小林 直行	3月31日
	高橋 朋浩	3月31日
	宮本 一成	3月31日
富山大手町	後藤 尚彦	3月4日
高岡	井島 克昌	3月31日
	松井 克仁	3月31日
高岡西	佐々木玲子	3月31日
金沢	青木 桂生	3月27日
	武隈 正樹	3月27日
	永井 幸樹	3月27日
	中原 俊之	3月27日
金沢東	宮本 秀夫	3月31日
	中村 喜洋	3月31日
	寺松 信宏	3月31日
金沢香林坊	木村 宗久	3月5日
金沢みなと	富加見俊彦	3月31日
加賀白山	小西出邦代	3月31日
羽咋	矢野 亮	3月31日
輪島	刀祢 正章	3月3日
金城大学RAC	土田ひろか	3月31日
	森 彩華	3月31日
	稲田 千夏	3月31日

ご冥福をお祈りいたします



谷口長四郎 名誉会員

山中RC
2024.2.12 (享年97歳)
(株) 谷口工務店会長
1983-84年度会長